

令和5年4月7日

保護者の皆様へ

真庭市立落合中学校

校長 浅野 秀朋

巨大地震発生時における対応について（お知らせ）

陽春の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動につきまして、多大なご理解とご支援をいただき、深く感謝しております。

さて、前回の南海トラフ地震（昭和東南海地震（1944年）及び昭和南海地震（1946年））が発生してから70年以上が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まっています。このことから地震への備えが一層緊急かつ重要な課題となっております。

つきましては、落合中学校では地震等の災害に備えた対応マニュアルを作成しておりますが、真庭市の基準に照らして巨大地震発生時の対応について、下記の通りお知らせしますのでよろしくお願い申し上げます。

記

※【市内で震度5弱以上の地震が観測された場合】の対応の基準

登校前	① 学校再開の連絡があるまで、自宅待機とする。
登下校中の場合	安全な場所に一時避難してから、原則として学校か自宅の近い方に行く。 ① 学校に行く。→「引き渡し」（学校滞在中の場合に準ずる。） ② 自宅に帰る。 ③ 近くの避難場所に行く。 } 学校から安否確認の連絡をさせていただきます。 ④ スクールバスの生徒については、バス運転手の方で安全確保を行い、必要な対応を取ります。
学校滞在中の場合	① すべての教育活動を中止し、生徒を安全な場所に避難誘導する。 ② 安全確認の上で保護者の皆様に引き渡しますので、お迎えをお願いします。 ※迎えがあるまで、学校で保護します。 ③ ウサギメールと告知放送でお迎えの連絡をさせていただきます。 ☆ 通信寸断の場合もあるので、③のような家庭連絡ができないことも考えられます。 <u>家庭連絡がなくても、震度5弱以上の地震の場合は、お迎えをお願いします。</u>
夜間・休日など	① 学校再開の連絡があるまで、自宅待機とする。

※以上はあくまでも基本的な対応基準であり、状況により対応が異なることもあります。

※ 巨大地震発生時は、自宅や通学路等大きな被害が予想されますので、安全を最優先に行動してください。場合によっては、生徒の引き取りに来校できない場合も考えられますが、お迎えがあるまで保護致します。